

黎明会だより

No.165

編集・発行
社会福祉法人
黎明会
〒187-0032 東京都小平市
小川町1-485
☎042-3446-6611
<http://www.reimeikai.or.jp/index.html>

これからの障がい者支援施設の暮らし



社会福祉法人 黎明会
障がい者支援施設 澄水園
施設長 香遠 亨

新型コロナウイルス感染症により、この三年間で私たちの暮らしは大きく変わりました。一人が感染すればクラスターとなり、収束までの長い道のりを澄水園も経験しました。

マスク等着用できない利用者がほとんどで、日々の手洗い、うがい等もままならない状況での感染予防の自主性は期待できません。我々職員がこの澄水園を守るという意識をもって、今以上に利用者へ接し支援していかなくてはならないと感じています。

面会、外出、外泊の中止により、地域や家族との関わりが一時ストップ。さらに楽しみにしている行事やイベントの中止、縮小化も余儀なくされました。新型コロナ

ウイルス感染症が5類に移行になっても施設の現場ではまだまだクラスターへの強い警戒心があります。

コロナ禍で長く外からの刺激を受けられない生活をしてきた弊害があり、様々な制限を余儀なくされた利用者の日常生活を取り戻すべく、メンタル面も含めたより丁寧な支援が求められると思います。感染症への対応は今後も続くと考えられます。コロナ禍以前に戻そうとする流れになり、施設としてもその流れに沿って進みたいのですが、現状は感染症対策に追われています。さらに障がい程度の重度化や要介護の程度も進んでいます。

一方で入所や通所を希望される利用者は新卒を含む若年層や個別

支援の必要な方が多い現状です。これを日中活動の観点からみると、活動スペースが限られており、若年層から高齢層までの多様な活動メニューが提供できません。また、高齢化、虚弱化に伴う車椅子の利用者増加で活動スペースのみならず、施設全体が手狭となり事故が起きないように努力することが何より必要となります。

このような状況の中、これからの澄水園に課せられた課題がいくつかあります。

一つ目は入所利用者のグループホーム等への地域移行をさらに進め、高齢になられた方々が安心して地域生活を継続できるよう支援していくこと。

二つ目は、生活介護事業(日中活動・通所)の活動場所を施設の中とは別の場所でも実施すること。新型コロナウイルス感染症も経験し、入所と通所のサービスの場の混在を避けていかなくてはならないのは必然であると思います。

どうしたら澄水園の入所・通所を利用してくださる方々の安心と安全を確保し、落ち着いた、充実した生活を送っていただけるのか。私たちが問われ続けるサービスの質の向上と向き合っていかなければなりません。

三つ目は、「アフターコロナ」の時代、施設を取り巻く環境、人材の確保、専門性(他職種連携)などにより地域との連携が大きく問

われる時代に入ったと考えます。国の障がい者施策では、障がい者の重度化、高齢化、親亡き後を見据えた地域生活支援拠点等の整備に重点が置かれています。

具体的には、以下の4点です。
①入所者への支援の質の向上と地域移行(施設として本人に合った支援を構築する仕組みと入所以外の選択肢を広げ本人が望む生活の実現)
②緊急時の受入れ(障がい者支援施設の機能を生かし、在宅で暮らす障がい者とその家族を支えるセーフティネットとしての役割)
③専門的人材の育成(地域で生活できる体制が整っていない現状、支援の経験値やノウハウを地域の支援体制構築のために求められているのが、障がい者支援施設)
④地域資源と連携(地域移行を進めていくには多くの関係機関との連携は不可欠。医療機関、介護施設との連携も必要となる)

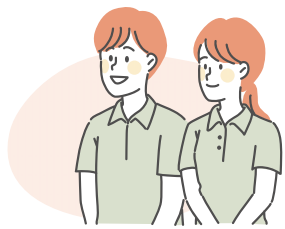
四つ目は、障がい者に対する差別や偏見の解消にむけて取り組むこと。国は障がい者差別解消法を制定し、様々な施策を行い、この問題に取り組んできました。ただ、障がい者に対する理解や配慮はまだ十分とはいえません。

障がい者と地域との関係や、対人関係についての問題があり、権利擁護の体制がなく、地域での生活が阻害されている現状もあるように聞きます。多様性という言葉が日常化している現在、地域や職

場の中で障害という多様性を認め合い共生するような社会になっていくことが大切ではないでしょうか。

最後に五つ目は、障害福祉サービスを提供する社会福祉施設として、専門的なサービスを必要とする方々の地域生活や本人主体を追求していくと支援者の技術や専門性の向上に取り組むことや法人や事業所の地域と連携した取り組みも問われてくるでしょう。そのためにも、ソーシャルワークの実践ができる人材の育成が急務ではないかと思えます。

目的や理想とするものを明確にし、現状を分析、そこから目指すものをイメージしていく中で、自身が育っていくしかないのではないかと思っています。社会福祉法人の命ともいえる組織力、これを底上げし、通常のサービスを高めつつ、新たなサービスや新たなことに挑戦する風土を進めていくことが大切です。どこまで行っても地域の中で地域と共に、心こそ大切なれをモットーに今後も皆さまの暮らしを支えてまいります。



令和5年度 定年退職

令和6年3月31日、次の5名の職員が定年退職を迎えられました。皆さん黎明会の発展に精励されました。これまでのご尽力に敬意を表し、ここにご紹介します。これから健康に留意され素敵な第二の人生をお過ごしください。

東 泰宏	40年	救護施設	あかつき 介助員
龍崎 直美	26年	※1	救護施設
障害者支援施設 澄水園 支援員			
高岡 公枝	18年	※2	救護施設
あかつき 介護職員			
奈良 勝己	5年		診療施設
南台病院 総務課長			
阿部 裕	5年		法人本部総務局 企画総務課長

※1 龍崎直美さんは非常勤職員として引き続き澄水園の支援員の業務に当たっていただきます。
※2 高岡公枝さんは非常勤職員として引き続きあかつきの介護職員の業務に当たっていただきます。

定年を迎えて

澄水園 龍崎 直美

黎明会との出会いは、今から26年前の9月でした。はじめは給食センターでの食事作り、その当時の職員・栄養士と、いかに美味しい食事や特別食などを提供できるかと、毎日悩み考え楽しく仕事をさせて頂いていました。

15年が過ぎ、以前より話のあった給食センターの委託業務の話が現実となり、当時の組合の方々や上司の口添えもあり、私たち職員は殆どが各施設で働くことが出来ました。

私は現在の職場でもある澄水園に配属が決まりました。知的障害者施設の支援員の仕事…。はじめは想像も出来ず、如何なる事かと心配しましたが、給食センターで働いていた時に行っていた、魚の解体ショーや握り寿司の提供、藤棚下で行っていたパーベキュー、新年会のことを覚えていた利用者様が声を掛けてくれ、私を見知っていたしてくれたことにとっても救われた思いでした。

澄水園での初めの頃は利用者様に試されている感じもあり、なぜこんなに他の職員の方々と私では利用者様の感じが違うのかと悩むこともありましたが、一緒に泊る旅行や昼食外出、買い物やお花見、映画、日帰り旅行、誕生日のお祝

い金を園より頂いての外出、通院等を繰り返して一緒に行く内に徐々にお話をしてくれたり笑顔も見られるようになりました。

今では利用者様の方から声を掛けて来られたり、笑顔で挨拶もして頂けたりと、とても楽しい日々を送ることができています。

ここ何年か新型コロナウイルス感染症が蔓延し、面会にも規制があったり外出や旅行も出来ない状態が続く中、頑張って生活をされている利用者様、早く以前の様に昼食外出や旅行等コロナ禍以前のような生活ができ、笑顔いっぱいでの生活が送れる日々が来ることを願っております。

また、何も分からない私に丁寧に根気よく仕事を教えてくださり、澄水園での楽しみ方までも教えてくださった今は殆ど他の施設に異動された当時の職員の方々や以前に比べ少ない人数の中、今現在一緒に仕事をしている職員の皆様や利用者様のおかげもあり、定年の歳を迎えることができました。本当にありがとうございます。皆様の暖かいサポートと共に充実した日々を過ごすことができました。誠ことを深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

定年を迎えて

あかつき 高岡 公枝

黎明会南台病院に入職したのは、平成17年6月でした。病院に努めたいと思ったきっかけは父の入院からでした。父は白血病を患い余命を知らなかったこともあり、日々症状が進むなかで、どのような気持ちを抱いていたのだろう、私から父にできることがもったあつたのではないかとということが頭から離れず、患者様に寄り添う仕事が出来たらとの思いから介護職として就職しました。

入職当時の病院は大変多くの寝たきりの患者様が入院されていました。毎日の介護から患者様に喜んでいただけることはないだろうかと考える日々でした。ある時、上司から介護研究の内容についての相談があり、患者様、特に寝たきりの患者様へのアロマテラピーとマッサージの効果を提案し、取り上げていただけることになりました。アロマテラピーを扱う介護事業所は増えておりますが、当時はまだ珍しく、試行錯誤しながらも看護職員と介護職員の皆様と協力的ながら実施に結び付け、患者様の好評を得ることが出来たことは今も良い思い出として心に残っています。

平成24年にはやすらぎの園へ異

動となりました。新しい建物で新しくグループケアでの介護の取り組みに、病院との違いもあり少々の戸惑いもあったものでした。日々、入職時から変わらなかった利用者様に楽しく過ごしていただきたい思いで、また喜んでもらえることを探しながら夢中で駆け抜けた日々は、いつしか「楽しく笑って生きる」という私自身の人生の目標にもなったのです。

平成29年に現在のあかつきに異動となり、これが最終の職場となりました。不安な思いもあった異動でしたが、精神疾患を抱えた利用者様に携わらせていただいたことは社会福祉の奥深さを知る良い機会となりました。

これまでの黎明会での日々の中で多忙を極めた頃も今は懐かしく、無事に定年を迎えられたのも、周りの方々の支えがあったのことに深く感謝申し上げます。



永年勤続表彰者

黎明会では40年、30年、20年、10年の節目で永年勤続者として表彰状と記念品を贈呈しています。今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍の影響もあり、式典は執り行わず各施設の施設長よりお渡ししました。

40年勤続者

あかつき	東 泰宏
あかつき	渡部 国彦

30年勤続者

黎明 寮	高橋 誠
あかつき	山崎 広樹
あかつき	中谷 直美

20年勤続者

黎明 寮	瀧本 和孝
あかつき	鈴木 賢
あかつき	江連 知実
澄水 園	住山 浩二
やすらぎの園	西澤 ひろみ

20年勤続者

南台病院	岡田 昇
南台病院	下山 克也
南台病院	片岡 智恵子
在宅サービス 総合センター	小川 容子

10年勤続者

黎明 寮	清水 真由美
澄水 園	小林 雄也
やすらぎの園	太田 裕貴
やすらぎの園	富岡 剛
やすらぎの園	丸山 福美
やすらぎの園	杉本 幸枝
けやきの郷	北島 真喜子
けやきの郷	金子 睦
南台病院	榮 由美
南台病院	尾崎 花恵
南台病院	木下 浩子
南台病院	廣本 妙
南台病院	板橋 祥子

令和6年度 法人研修予定

	開催月	研修名	対象者	内容
オンライン研修	R6年4月～ R7年3月	介護基礎トレーニング	卒後1～2年目 施設長の推薦者	専門職としてのマインドと 介護知識の基礎を学ぶ
		コアスタッフ養成 コース①	勤続4～6年目 施設長の推薦者	現場における教育の質を 向上させるためのスキルを学ぶ
		コアスタッフ養成 コース②	勤続5～10年目、主任 係長 施設長の推薦者	リーダーとしての 基本スキルの習得
		チームリーダー 育成・実践コース	課長・係長 施設長の推薦者	チームビルディングに必要な実 践力を養い高めるリーダー育成
階層別研修	4月	新任研修①②③④	新任職員	事業説明、リスクマネジメント コンプライアンス、施設見学
	7月	新任研修⑤	新任職員	施設見学(熱海地区)
	10月	新任研修⑥	新任職員	新任フォローアップ
	10月	勤続3年目研修	勤続3年目職員	他施設体験研修(動機付け含)
	11月	勤続4年目研修	勤続4年目職員	効果的なコミュニケーションと 後輩育成
	3月	課長・係長研修	課長・係長	階層別オンライン研修成果発表
専門研修	5月 7月 10月	実践研究研修 ①②③	実践研究発表を 担当する職員	実践研究の意義・プロセスを 学び、研究的手法を用い 自施設の課題に取り組む
	11月	実践研究発表大会	全職員	実践研究の成果を発表する
	6月	権利擁護研修	全職員	身体拘束、虐待防止、他
	7月	コンプライアンス	全職員	法令遵守 個人情報保護
	11月	感染防止対策	全職員	感染防止対策を学ぶ

法人研修は、令和5年度も2部構成で実施され、階層別(経験年数別・職階別)の9研修と専門7研修の合計16研修を開催しました。対面、録画を使ったeラーニング・資料配布による自己学習など多様な方法で1243名が学びを深め実践で活用しています。

法人研修 令和5年度実績と令和6年度予定

令和6年度は、新たに階層別研修にオンライン研修を取り入れます。1年を通し、知識・理論を実践の中で統合させ行動変容に結び付け、成果につなげることを目的とします。(小松)

令和6年度 黎明会ケアスクール「介護の資格」 講座案内

介護福祉士実務者研修 定員12名	
受講資格	介護職員初任者研修修了ヘルパー2級保持者 経験2年以上の無資格者
日程	4月14日～8月13日 4月14日～10月31日
開講式：4月14日 スクーリング予定(8日間)	
費用	60,000円(税込) 93,000円(税込)
別途 テキスト代(共通) 14,080円(税込)	

介護職員初任者研修 定員18名	
日程	9月15日～12月22日
開講式：9月15日 スクーリング予定(15日間) 見学実習 平日2日間あり	
費用	50,000円(税込)
別途テキスト代 4,180円(税込)	

- ※ 各講座ともスクーリングあり(詳しい日程等の情報は黎明会ホームページをご覧ください)
- ※ 受講相談・申し込み先 電話：042-346-6611 FAX：042-345-5975
Eメール：kensyuu@reimeikai.or.jp

第13回実践研究発表大会

令和5年11月27日

実践現場における疑問や課題解決に研究的手法を用いて取組み、介護・支援の質向上に繋げていきます。今年後は8事業所から演題が発表されました。優秀発表チームを紹介します。

第1位 のぞみ作業所

『のぞみ作業所の支援における「構造化」の現状と課題』について発表させていただきました。第1位の評価を頂きました。

のぞみ作業所は主に知的障害のある方が通所される就労継続支援B型事業所です。利用者の方が作業に取り組みやすいよう、日頃から職員各々工夫をしています。今回は自閉症スペクトラムに対する支援方法の1つである「構造化」の観点から普段行っている支援について検証を行いました。支援の根拠や裏付けを深めていくことでよりよい作業環境づくりが可能になるといふ気付きを得ることができました。今後の支援に活用していきたいと考えています。(西澤)

第2位 やすらぎの園

『皮膚トラブルの予防〜利用者の肌の潤いを取り戻す!〜』が評価をいただき、第2位という結果を得ることができました。

今回の研究にご協力くださいましたご利用者・ご家族の皆様、ご指導いただきました先生方、やすらぎの園の職員一同に深く感謝申し上げます。

皮膚の改善アプローチが一時的な対応に留まっていることを踏まえ、スキンケアの継続が予防につながるかと考え、日常的なスキンケアを実施し、皮膚状態を数値化・分析し、評価・検証を行いました。ご利用者がより快適な生活を送れるよう、今回の研究結果を活かしていきたいと思えます。(山川)

第3位 熱海ゆとりあ郷

「下剤減量を目指し自然な排便を促す〜排便コントロールに対する職員の意識改善に繋げる〜」で第3位の結果を得ることが出来ました。

テーマは、看護・介護を実践する中で「それが普通」になっていることを「本当にこれでいいのか」と疑問視することから生まれました。研究を通じ結果に繋がった事で一つの行為を探求することが重要だという事を学びました。

現在も排便コントロールにオリゴ糖を継続していますが、さらに下剤を減量し自然な排便があるように工夫を重ねたいと思えます。

また、多職種間の情報交換により多くの職員が関心を持ち対応することでケアの向上に繋がったのでこれからも続けたいと思えます。(稲葉)

第3位 黎明寮

『利用者の思いやり行動への視点〜ストレングスに着目したチームアプローチから変わる事〜』について発表させて頂き、同点で3位という評価を頂きました。

経済的な問題を抱え身体や精神に障害がある方の支援を行う中で黎明寮の生活ルール上注意している事が、一般社会では思いやり行動と認識されていることもあり、改めて利用者の思いやり行動に着目してみました。

結果は、ストレングス視点(支援対象者のもつ強み、力、良いところ、努力などに着目する視点のこと)をもった関わりや、一人ひとりの人間性や人柄をより深く考察する事ができる良いきっかけとなりました。今後も定期的に思いやり行動に目を向ける取り組みを実施し、より良い支援に繋げるきっかけにしたいと思えます。(酒井)

令和5年度 実践研究発表大会 演題一覧

事業所名	発表演題
黎明寮	利用者の思いやり行動への視点 ～ストレングスに着目した チームアプローチから変わる事～
南台病院	昼休みの短時間仮眠による午後の訓練中の眠気とカルテ入力中の眠気の予防効果
けやきの郷	個性ある介護の提供によるADL能力とQOLの変化について ～科学的介護情報システム (LIFE) 導入に向けた職員の意識の変化～
やすらぎの園	皮膚トラブルの予防 ～利用者の肌の潤いを取り戻す!～
澄水園	障がい者施設における他職種との連携による効果と課題
あかつき	精神疾患がある方の入浴支援
のぞみ作業所	のぞみ作業所の支援における「構造化」の現状と課題
熱海ゆとりあ郷	下剤減量を目指し自然な排便を促す ～排便コントロールに対する 職員の意識改善に繋げる～

令和6年度福祉開発振興援助事業追加申込及び
令和7年度福祉開発振興援助事業について

黎明会では、社会福祉に関する先駆的・開拓的な研究・企画・調査・実践活動等を行う団体等に対して援助を行っています。(援助額原則上限50万円)

今回の福祉開発振興援助事業では、小平市内のこども食堂3団体の立ち上げやけやきの郷での「トルト」というAIにより簡易的に歩行解析ができ、利用者などに対してフィードバック、情報共有が容易にできるツールの導入など全国の多種多様な事業を支援します。

支援した団体からは、大変有意義に活用していただき、各団体様より喜びの声を多数いただいております。

今年も令和6年度福祉開発援助事業追加募集、令和7年度福祉開発振興援助事業の公募を8月から行う予定です。

公募の詳細については、当法人のホームページにて7月頃ご案内いたします。皆様のご応募を心よりお待ちしております。(阿部)

令和5年度福祉開発振興援助事業追加分	
団体名	金額
だれでも食堂「わらい」	200,000円
クラブハウスシンプルライフ協力会	60,000円
社会福祉法人 黎明会 介護老人保健施設 けやきの郷	500,000円
地域資源開発 ソーシャルワーク 実践研究会	200,000円
令和6年度福祉開発振興援助事業	
地域資源開発 ソーシャルワーク 実践研究会	300,000円
一般社団法人 ひだまりの会	500,000円
一般社団法人 お寺と教会の親なきあと相談室	500,000円
一般社団法人 発達障がいファミリーサポート Marble	500,000円
一般社団法人 グリーンボード	500,000円
だれでも食堂「ゆらり」	500,000円
だれでも食堂「わらい」	500,000円
特定非営利活動法人 アンファン・ボンヌ	500,000円
特定非営利活動法人 手と手と手	330,000円
社会福祉法人 かしの木会 くず葉学園	500,000円
社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会	500,000円

だれでも食堂「ゆらり」

令和6年1月7日10時30分開催

福祉開発援助事業では最近子ども食堂の立ち上げへの援助が多くなっています。

この度、小平市内で援助している子ども食堂の中から、だれでも食堂「ゆらり」を訪ねました。「ゆらり」は毎月1回第1日曜日に小川西町公民館で開催しています。会場は多くの人でにぎわい、子ども達の居場所であることに留まらずおとなの居場所、特に高齢者の居場所にもなっています。

スタッフは地域の皆さんのボランティアで、代表の市東和子さん自らも料理に腕を振っています。食事を通して地域の温かい繋がりが生まれています。(阿部)



お知らせ

◆令和5年度第7回理事会

令和6年1月29日13時30分から当法人黎明ホールにて第7回理事会を開催し、理事及び監事並びに評議員報酬等規程の一部改正(案)等のすべての議案について承認されました。(阿部)

◆令和5年度第3回評議員会

令和6年2月8日15時から当法人黎明ホールにて第3回評議員会を開催し、特別功労金の支給(案)等のすべての議案について承認されました。(阿部)

◆令和5年度第8回理事会

令和6年3月14日13時30分から当法人黎明ホールにて第8回理事会を開催し、令和6年度事業計画(案)、令和6年度収支予算(案)等のすべての議案について承認されました。(阿部)

◆令和5年度第4回評議員会

令和6年3月14日15時30分から当法人黎明ホールにて第4回評議員会を開催し、令和6年度事業計画(案)、令和6年度収支予算(案)等のすべての議案について承認されました。(阿部)

令和5年度
黎明会秋季総合防災訓練

令和5年12月1日(金)、小平地区の全事業所合同で、震度6相当の地震を想定した秋季総合防災訓練を実施しました。事業所ごとに防災訓練及び法人本部が設置した防災本部との無線連絡訓練を行った後、澄水園前の広場に到着した「VR防災体験車」によるVR(バーチャルリアリティ=仮想現実)防災体験訓練を行いました。

この訓練では、利用者と職員がリアルな被災状況を仮想現実で体験し、緊急時の対応力を向上させることを目的としました。

VR防災体験車は、ヘッドマウントディスプレイで見る360度の立体映像を通して地震・火災・風水害の3種類の災害を疑似体験できる機能を備えた大型車両です。体験時間は約3分間で、それぞれの災害の特性に合わせて、座席の揺れ、水しぶき、熱、煙の臭いなどが発生することで、これまでにない臨場感を味わえるのが特徴で、車体左側面のウイングが展開し、内部に最大8人が体験可能な座席があります。

東京消防庁の資料によると、全長12m、全高約3.5m(展開時約4.1m)、全幅約2.5m(展開時約5m)、総重量16tと、極めて大型の車両であり、あかつきとやすらぎの園の間の通路では、通過するのに切り返しが何度も必要となるほどでした。

VR防災体験は、各事業の職員、他、あかつきの利用者数10名が参加しました。各事業所の職員も合計40名ほどが参加し、3種類の災害のうち、いずれか1種類、もしくは2種類を体験することができました。

訓練後には、各事業所の防災管理委員がその場で反省会を行い、「貴重な体験ができました」等、好評な感想が多数ありました。

訓練を通じて、利用者や職員は日常の中で忘れがちな防災意識を高めることができたのではないかと思います。

今回の総合防災訓練の実施に際しまして、ご協力いただきました小平消防署小川出張所の皆様、東京消防庁のVR防災体験車の管轄部署の皆様を始め、関係者各位には厚く御礼申し上げます。(渡辺)



ありがとうございました
 寄贈者ご芳名(順不同)
 令和5年11月・12月・令和6年1月

- ☆ **金員**
 匿名様 1名
- ☆ **物品**
 匿名様 1名
 電気湿温蔵庫 1台
 スチームコンベクション 1台
 両袖デスク 1台
 食器洗浄機 1台

行事予定

4・5・6月 ()内は日付

- ◆ **黎明寮**
 5月 バーベキュー (未定)
 5月 菖蒲湯 (未定)
- ◆ **やすらぎの園(従来型)**
 4月 お花見
 5月 菖蒲湯
- ◆ **やすらぎの園(ユニット型)**
 4月 お花見
 5月 菖蒲湯

- ◆ **デイサービスやすらぎ**
 4月 お花見(3月実施が延期になった場合)
 5月 菖蒲湯

◆ **けやきの郷**

- 4月 フロア行事(お花見)
- 5月 菖蒲湯(3・4・5)
- 6月 フロア別運動会(未定)

◆ **のぞみ作業所**

- 5月 小平市障がい者運動会(18)

◆ **在宅サービス総合センター**

- 4月 オレンジカフェ(25)
- 5月 オレンジカフェ(23)
- 6月 オレンジカフェ(27)

※オレンジカフェとは認知症カフェのことです

時間 14時~15時30分

場所 上水新町地域センター1・2階和室

◆ **熱海ゆとりあの郷**

- 5月 運営懇談会(30)
- 6月 防災訓練(3)

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合があります。



黎明会の運営理念
 — 五つの目標 —

- 一 利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。
- 二 保健・医療・福祉の総合機能を活かし、質の高いサービスを提供します。
- 三 地域と協働し、広く社会に貢献します。
- 四 常に自らを磨き、活力ある職場づくりに努めます。
- 五 福祉事業のパイオニアとして、時代が求めるものを目指します。

南台病院 診療科目一覧表

☎042(341)7111

〔受付時間〕 午前 8:30~11:30
 午後 1:00~4:00

診療日	診療時間	内科	消化器内科	循環器内科	精神科	整形外科・リウマチ科	リハビリ科	皮膚科	歯科
月	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
火	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
水	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
木	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
金	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
土	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

◆ **黎明会が経営している施設・病院** ◆

- 〒187-0032 東京都小平市小川町1-485
 ◇黎明会法人本部総務局 ☎042(346)6611
 ◇在宅サービス総合センター
 小平市地域包括支援センター(けやきの郷) ☎042(349)2321
 指定居宅介護支援事業所 ☎042(345)5343
 みなみだい訪問看護ステーション ☎042(341)8880
 訪問介護ステーションみなみだい ☎042(346)1171
 在宅・福祉用具相談取次事業 ☎042(346)1171
 地域生活支援センター(障害児等相談事業) ☎042(346)7412
 ◇障害者支援施設 澄水園 ☎042(346)7411
 ◇救護施設 黎明寮 ☎042(341)0336
 ◇救護施設 あかつき ☎042(341)4711
 ◇特別養護老人ホームやすらぎの園 ☎042(345)0617
 ◇デイサービス やすらぎ ☎042(313)4040
 ◇診療施設 南台病院 ☎042(341)7111
 ◇介護老人保健施設(けやきの郷) ☎042(345)5321
 ◇けやきの郷 デイケア ☎042(349)0770
 ◇けやきの郷 訪問リハビリテーション ☎042(345)5321
- 〒187-0001 東京都小平市大沼町2-12-5
 ◇指定就労継続支援B型事業所 のぞみ作業所 ☎042(342)5711
- 〒187-0025 東京都小平市津田町2-5-5
 ◇指定共同生活援助 グループホームどりむ・のぞみ ☎042(347)6160
- 〒187-0032 東京都小平市小川町1-444-28
 ◇指定共同生活援助 グループホーム第2どりむ・のぞみ ☎042(343)5060
- 〒187-0032 東京都小平市小川町1-497-8
 ◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(こだま) ☎042(343)8383
- 〒187-0032 東京都小平市小川町1-495-1
 ◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(やまびこ) ☎042(341)5656
- 〒187-0032 東京都小平市小川町1-365-16
 ◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(こまち) ☎042(346)5166
- 〒413-8566 静岡県熱海市西熱海町1-24-1
 ◇介護付有料老人ホーム 熱海ゆとりあの郷 ☎0557(81)2322
 ◇熱海ゆとりあの郷診療所 ☎0557(81)5215